

## 向山ファイターズ優勝

### 習志野市少年野球新人大会

第25回習志野市少年野球新人大会が3月27日から4月4日まで、第一カッター球場ほかで開かれた。

大会結果は次の通り。

開会式では参加13チームの選手を代表して大久保フログスの佐野晃太郎主将が「ぼくたち選手一同はコロナ感染予防のため、活動を制限して練習を行ってきました。このような状況の中、今大会を開催して下さった関係者の皆様に感謝し、一球、一球あきらめずに全力で戦うことを誓います」と宣誓した。

|      |            |    |   |       |
|------|------------|----|---|-------|
| △1回戦 | ならしのファイターズ | 16 | 7 | 習志野フ  |
|      | フレンジ       | 16 | 7 | エニックス |
|      | 袖ヶ浦ポ       | 10 | 9 | 習志野ベ  |
|      | イズ         | 10 | 9 | ドリムス  |
|      | 向山ファ       | 8  | 5 | 津田沼少  |
|      | イターズ       | 8  | 5 | 年野球団  |
| △2回戦 | 大久保フ       | 17 | 6 | 実初クラ  |
|      | フレンジ       | 17 | 6 | ブ     |
|      | 鷺沼マリ       | 8  | 3 | 大東あづま |
|      | イズ         | 8  | 3 | マチャマ  |
| △3回戦 | 谷津サザ       | 13 | 5 | ならしの  |
|      | ナミ         | 13 | 5 | フレンジ  |
|      | 向山ファ       | 5  | 3 | 袖ヶ浦ポ  |
|      | イターズ       | 5  | 3 | イズ    |
|      | 藤崎シー       | 16 | 3 | 大久保フ  |
|      | クレット       | 16 | 3 | フレンジ  |



優勝の向山ファイターズ



準優勝の鷺沼マリーンズ



第3位の谷津サザナミ



第3位の藤崎シークレット

【後記】  
 決勝戦は順当に勝ち上がった鷺沼マリーンズと、接戦の準決勝戦を制した向山ファイターズとの顔合わせとなった。1回表、鷺沼は1番池尻が中前安打、右前安打の2番丸山が盗塁で無死二、三塁。3番山下の三塁ゴロの間に池尻が、4番山本の三塁ゴロの間に丸山がかえり2点を先制する。向山はその回裏、2番金井が左前安打、盗塁。3番吉田の二塁打で金井がかえる。4番戸井田は四球、5番長島は内野ゴロで二死走者二、三塁にボークで同点とする。

2回表、鷺沼は7番西田が右中間二塁打。8番細澤は内野ゴロだが、守備が乱れる間に1点奪う。向山は2回裏、9番石井が四球。守備で入った1番平林がバントで送り、金井は四球で一死走者一、二塁に吉田

の二塁適時打で、石井の代走・小林がかえり再び同点に。戸井田の内野ゴロの間に金井、吉田も悪投球でかえり、2点リードする。向山は3回裏にも、6番野坂が外野エラーで出塁。3回から守備に入った7番川島がバントが相手エラーを誘い、8番熊倉の内野安打で無死満塁。一死後、平林のバントスクイズが成功し、2者がかえり7-3とリードを4点に広げる。

一方、鷺沼は5回表、途中交代の2番高田が四球。山下の左翼線三塁打と山本の右前安打で2点を返し、2点差。だが向山も5回裏には8番代打の村田が四球、9番小林が送り、金井のセフティーバントが内野安打となり1点を挙げる。鷺沼の反撃は6回表、一死後、9番中里が四球と悪投球で二塁へ。二死となるが、高田、山下は連続四球。満塁となり、ボークも

あって中里、山本の内野安打と四球押出しで高田、山下がかえり同点。走者二、三塁から石井の打席にボークで山本がかえり、9-8と逆転する。

1点リードされた向山は最終回となった6回裏、先頭の戸井田が中前安打、続く長島は左前安打で走者一、二塁。野坂のバントは内野安打となり、無死満塁。一死後、村田は前進守備の頭を越える右中間安打を放ち、戸井田に次いで長島が本塁を踏み、試合に終了符が打たれた。

向山ファイターズの熊倉智紘キャプテンは「どの試合も接戦だったけど、ベンチやスタンドにいるチーム全員の力が一つになったから、優勝することができたと思います。コロナ禍の中でも、あこがれの第一カッター球場で思いっきりプレーをさせてもらえて、感謝しています」と話した。



聖火リレートーチを手にする児童



聖火リレートーチを手にする児童

東京2020オリンピックの開催まであと79日となった。オリンピック聖火リレーが各地で行われる中、鷺沼小学校に「聖火リレートーチ」がやって来た。

このトーチは群馬県での聖火リレー初日、第2区間を走った大野七海さんの厚意で先月まで特別に貸し出された。少年球児だった大野さんは大阪体育大学に進み、世界一となった3年前のWBS女子野球ワールドカップ日本代表に選ばれた。鷺沼小には兄の泰輝さんが勤めることから、本物のトーチを児童に見てもらいたいと届けられた。

聖火は見る人の心に平和、平等、融合、結束、友愛など人類共通の理想を呼び起こし、理想のビジョン

習志野市内での聖火リレーは7月2日の予定。

## 東京2020オリンピック 聖火のトーチがやって来た 鷺沼小学校児童会 平和・団結・友好誓う

を伝える役割を果たすといわれる。鷺沼小児童会ではこの機会に、平和、団結、友好といった聖火へ寄せるみんなの願いをトーチに誓おうと、全校児童に動画で呼びかけた。児童会では大野七海さんにもリレートーチを走った時の気持ちなどをインタビューし、大野さんは「コロナ禍で悲しい思いをした人もいます。医療従事者などの協力があったからこそ。感謝の気持ちを持っていて走りまわりたい」と答えた。

桜をモチーフにしたトーチは全長71cm。素材はアルミニウムで、本体だけの重量は約1kg。色は桜ゴールドと呼ばれる。児童の代表は「トーチはキラキラしてきれいで、持つとどっしりと感じました。平和でいい世界にしたい。そして、世界にいる困っている人々を助けてあげたい」と願いを語った。

鷺沼小の武井康至校長は「情報が先行する状況下、学校ではできるだけ本物に触れる機会を大事にしたいと思います。オリンピックの開催ごとに、トーチのことを思い出すことでしよう」と話した。